

うたごえ新聞万燈祭

提灯広告にご協力ください

「うたごえ運動」の進み行く足元を照らす万燈の明りを創立70周年記念日となる2018年2月10日・12日特別号うたごえ新聞紙上に提灯広告として掲載！ 多くの人の手で運動の未来を照らそう！！

「うたごえ運動」の創立70周年まであと1年と迫る今日、いまほど社会に文化の力が求められている時代はないと言われています。

日本のうたごえ全国協議会は、2017年2月の全国総会におきまして「戦争法廃止」「米軍沖縄新基地阻止」「原発停止」「核兵器禁止」の“4つの止”と「うたごえ新聞増紙」の“5つのシ”運動を、全力挙げて取り組むことを決議いたしました。そのうえで、来年迎える「うたごえ運動」70年をステップに、さらなる飛躍を期して裏面のとおり、うたごえ70年の各記念事業を実施いたします。

このたび、これら記念事業を強力に推進していくため、活動の灯が一層燃え盛るよう、多くのご支援の手で70周年から75周年に向かう運動の足元に、燈火の明りを点(とも)してくださることを願い「うたごえ運動70周年記念『うたごえ新聞万燈祭』提灯広告」に取り組むことといたしました。

燈火の明りを「うたごえ新聞70周年記念特別号」の中に提灯広告として掲載させていただきます。

みなさま方のご支援とご協力をたまわりますよう心からお願い申し上げます。



取扱い団体

- 賛同費／個人1張り(大)3,000円・(小)1,000円・団体1張り3,000円 都道府県別に氏名または団体名を掲載します。(ペンネーム・匿名可)。
- 発表／うたごえ新聞2018年2月10・12日号に4頁分で掲載
- 原稿／下記「申込書」に必要事項記入のうえ、サークル・合唱団又は地域のうたごえ協議会でとりまとめのうえ**取扱い団体・氏名(団体名)・口数(金額)のみデータ**で事務局あてお送りください。
- 締切 2017年12月20日(水) 必着

連絡先／日本のうたごえ70周年記念事業委員会

事務局(日本のうたごえ全国協議会内)

〒169-0072 東京都新宿区大久保2-16-36

☎03(3200)0106 FAX03(3200)0193

E-Mail/info@utago.e.gr.jp

振替口座 00110-1-26538 日本のうたごえ全国協議会

提灯広告申込書

氏名又は団体名		申込み口数	
フリガナ		<input type="checkbox"/> 大(団体) _____ 口分 _____ 円	
男・女		<input type="checkbox"/> 小 _____ 口分 _____ 円	
住所〒			
TEL		FAX	
意見広告は 12文字以内			

提灯広告掲載例

(実寸大です)

1口あたり

団体

三千元

個人

大 三千元
小 一千元

大 ■ お名前団体名と意見入り
小 ■ お名前個人名のみ



『人が生きる国、人が育つ町、人が主人公の暮らしを保障する憲法の心をうたごえに込めて』 日本のうたごえ創立70周年記念事業計画

日本のうたごえ創立70周年記念事業を成功させる「よびかけ人」(敬称略・順不同)

森村誠一(作家)、池辺晋一郎(作曲家)、浅井敬壹(合唱指揮者・全日本合唱連盟名誉会長)、井上鑑(キーボード奏者・アレンジャー・プロデューサー)、木津川計(立命館大学名誉教授・上方芸能評論家)、日下部吉彦(音楽評論家)、栗山文昭(合唱指揮者)、三枝成彰(作曲家)、寺嶋陸也(作曲家)、新実徳英(作曲家)、藤井知昭(音楽学者)、普天間かおり(歌手)、湯川れい子(音楽評論家・作詞家)、信長貴富(作曲家)、伊藤千尋(ジャーナリスト)、山田洋次(映画監督)、ナターシャ・グジー(歌手)、浅野昭利(株浅野太鼓楽器店専務)、安井正和(原水爆禁止日本協議会事務局長)、笠井貴美代(新日本婦人の会会長)、小田川義和(全国労働組合総連合議長)



敗戦の焼け野原の中からわき起こった「うたごえ運動」は、国民の生活と闘いに結びつき全国に広がっていく中で運動に携わった計り知れない多くの人々によって今日まで発展してきました。その「うたごえ運動」が、2018年いよいよ創立70周年を迎えます。この70周年からさらに、5年後の2023年を展望し、いまうたごえが求められているもの、将来の運動のあるべき方向を示す貴重な青写真として、「演奏・創造・普及・創作活動の旺盛な展開」「組織建設・普及活動の強化」「専門家・他団体との協力共同・連帯の強化」「合唱発表会運動の活発化」「日本のうたごえ祭典」「うたごえ新聞の拡大」「出版事業の旺盛な展開」「教育・学習活動の強化」「郷土のうたと踊り活動の強化」「国際交流の発展」の10のビジョンを柱に、総合的な活動計画をもつことといたしました。

うたごえは、万人の願いを描き、人間の苦しみや嘆きを代弁し、時代を捉えて批判の目を研ぎ澄まし、人間味溢れる愛情の目を注ぎながら、人間の誇りを胸に憲法のこころと人間の尊厳をうたう「歌う日本国憲法請負人」です。第二次世界大戦とアジア太平洋戦争という史上最悪の傷口を負って今から70年前、生み出された日本国憲法は、人類5千年の文明史上で最高の到達点であり、戦争は政府が引き起こすものであることを初めて明文化した日本と世界の宝物といえます。その憲法施行から70年の今日、自衛隊は戦争ができる軍隊にさせられ、米軍基地はとどまるところを知らずさらに拡大されようとし、人権も暮らしもないがしろにされ、金権腐敗にまみれた為政者の暴挙で憲法は蹂躪され、泣き苦しんでいます。100年未来を語るとき、国民主権・個人の尊厳・平和の共存という人類普遍の唯一の道が、憲法であることをあらためて70年の節目に想い起し、「うたごえ運動」70年をさらなる飛躍の跳躍台として、70年の各記念事業を実施することといたしました。多くの皆様方の物心両面にわたるご支援ご協力をお願いいたします。

日本のうたごえ全国協議会

2018年日本のうたごえ創立70周年を迎えるにあたって ♪日本のうたごえ創立70周年記念事業計画の概要♪

基本計画の概要 目標年次～運動創立70年(2018年)から75年(2023年)

具体化されている主な活動計画

日本のうたごえ70周年記念祭典(東京)

6人の音楽家によるニューアレンジ合唱曲集「みんなのうた」の出版

池辺晋一郎、井上鑑、源田俊一郎、寺嶋陸也、新実徳英、信長貴富の各氏に18曲からなる「うたごえ愛唱歌」のニューアレンジを依頼し、楽曲集として出版

6人の音楽家によるシンポジウムの開催 日時/17.10.31(火)15時半～ 会場/

「原発」「戦争法」「沖縄」をテーマにした記念作品の公募

■「約束のうた」きむらいずみ詞/たかだりゆうじ曲 ■「原発に頼るまい」石原いっき詞/武義和曲・長森かおる曲 ■「平和のベル」久保木力詞/井野口敏子

70周年記念作品 混声合唱組曲「こわしてはいけないー無言館をうたうー」の普及 作詩/窪島誠一郎 作曲/池辺晋一郎

創立70周年記念シンボルマークの制作

創立70周年記念レセプション 日時/18.2.10(土)18時～ 会場/主婦会館プラザエフ

70周年記念出版「うたごえの歴史」(仮称) 著者/高橋正志

「うたごえ新聞万燈祭」提灯広告 2018年2月10日・12日特別号うたごえ新聞掲載